

80. 琉球大学医学部（国立）

University of The Faculty of Medicine and University Hospital

<http://www.u-ryukyu.ac.jp/>

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

電話098-895-3331(代)

FAX098-895-1090

教養課程

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話098-895-8012(代)

FAX098-895-1013

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約10分

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）と専門教育とを区別せず、6年一貫教育である。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）にはない。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を履修要綱という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて3年生に編入する。
編入生の編入時期はすべて4月である。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは1日間行方が合宿ではない。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：1年生：1日間救急車同乗実習（土曜日午後2時～日曜日午前9時）

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。

自習用に割り当てられている時間は

2年生は、平均して週3時間×年間8回である。

3年生は、平均して週6時間×年間16回である。

チューターは主として基礎医学系の教員が行う。

チューター養成のための特別な勉強会や講習会はない。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

- ・ Early Exposureとして、1年次に救急車同乗実習を行っている。
- ・ 3年次に体験学習（3名程度のグループで、民間病院、老人介護施設を1日体験する）を行っている。

K. 今後のカリキュラム改訂は今のところ予定していない。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

- ・ コア・カリキュラムに関しては、H15の講座改編の折、文科省への設置審申請書に組み込まれて予定されており、計画そのものは準備されている。
- ・ しかしながら、H13年度から開始された学士編入学者の入学時期が3年次4月からであるため、この入学時期の変更をしない限り計画が順調にいかずそのままになっている。
- ・ この学士入学時期とコアカリキュラム型新カリキュラムは連動して計画されている。

2. 選択制について採用してはいない

3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一部が一緒である。
- B. 他大学との単位互換について認めていない。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約50%である。
- E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生の数は調査していないのでわからない。
「生物」を履修しなかった学生に対して特別に対応してはいない。
- F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていた。
入学者のうち「生物」を選択していた学生は約56%であった。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が4年生の時に平均して1週40時間×3週間配属される。

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。
（14日間）
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週40時間で、42週間である。
6年の時、1週40時間で、9週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。その期間は全部で4週で、そこで行う実習科目は（内科、外科）である。
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは内科や外科などの主な臨床実習実施科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。
そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については

- ・保険制度に加入している。
- ・ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は行っていない。

7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは2年終了時、3年終了時、4年終了時である。
- B. 成績の記録法は点数・合否・段階などの混合による方法を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとと総合試験の両方である。
時期は9月から10月まで、期間は9週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、卒業試験が組まれている。
また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。

- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生である。
自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。
その評価結果は昇進などに関係しない。

F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

| | | 教 養* | 基 礎** | 臨 床*** | 附属研究施設 | その他 | 合 計 |
|--------------|-----|------|-------|--------|--------|-----|-----|
| 常勤 (有給専任) | 教 授 | | 12 | 20 | 0 | 6 | 38 |
| | 准教授 | | 11 | 23 | 2 | 5 | 41 |
| | 講 師 | | 0 | 25 | 0 | 0 | 25 |
| | 助 教 | | 14 | 108 | 1 | 10 | 133 |
| | その他 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 合 計 | 0 | 37 | 176 | 3 | 22 | 238 |

| | | | | | | | |
|-------------------|-----|---|----|-----|---|---|-----|
| 非常勤 (客員・無給を含む) | 教 授 | | | | | | 0 |
| | 准教授 | | | | | | 0 |
| | 講 師 | | 51 | 100 | 2 | | 153 |
| | 助 教 | | | | | | 0 |
| | その他 | | | | | | 0 |
| | 合 計 | 0 | 51 | 100 | 2 | 0 | 153 |

* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

** 基礎は社会医学を含む。

*** 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

- ・助教のみ
- ・任期は3年から5年で再任は1～3回
- ・再任審査あり

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

| 学 年 | 総 数 | | うち学士編入者数 | うち今年度留年者数 (今年度のみ) | うち休学者数 | うち外国人 留学生 | |
|-----|----------------|----------------|----------|----------------------|--------|--------------|---|
| | うち 女子 人数 | うち 女子 人数 | | | | | |
| 1 | 97 | 38 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 2 | 106 | 32 | 0 | 12 | 2 | 0 | 0 |
| 3 | 106 | 33 | 6 | 7 | 4 | 0 | 0 |
| 4 | 99 | 28 | 6 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 5 | 103 | 40 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 6 | 115 | 48 | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 |
| 合計 | 626 | 219 | 20 | 25 | 11 | 1 | 1 |

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数425名、合格者数95名、倍率4.5倍

入学者数95名、（定員95名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役15名、1浪25名、2浪25名、その他30名、

定員外に別試験で入学した外国人学生1名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を2単科目課している。

11. 平成19年（今年）の1年生以外の編入学状況

編入学者数／応募者数

3学年 5／192

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数432名、合格者数95名、倍率4.5倍

入学者数95名、（定員95名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役19名、1浪31名、2浪18名、その他27名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

A. 編入学者数／応募者数

3学年 5／145

B. 現在、編入学者地域わくについて県と調整中

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

| 学 年 | 学期制なし | 学期制あり | | 総時間数 | | |
|-----|-------|-------|------|-------|-------|-----------------|
| | | 2学期制 | 3学期制 | 講義 | 実習 | PBL／ チュートリアル |
| 1 | | ○ | | 26 | 19 | |
| 2 | | ○ | | 666 | 232 | 47 |
| 3 | | | ○ | 882 | 168 | |
| 4 | | | ○ | 1,614 | 73 | |
| 5 | | | ○ | 18 | 1,680 | |
| 6 | | | ○ | 60 | 360 | |

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| A | B | B | C | E | E |
| | A | | D | | |
| | | | E | | |
| | | | E | | |
| | | | F | | |

(註) A：教養（共通教育）

B：基礎医学（生理系）

C：基礎医学（病理系）

D：社会医学

E：臨床医学

F：基礎医学や社会医学への配属セミナー

旧カリキュラム

| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| A | B | | D | E | E |
| | A | | F | | |
| | | | E | | |

(註) A：教養（共通教育）

B：基礎医学（生理系）

C：基礎医学（病理系）

D：社会医学

E：臨床医学

F：基礎医学や社会医学への配属セミナー

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

| 授業科目名 | 講義時間数 | 実習時間数 | 合計時間数 |
|---------------|-------|-------|-------|
| 解剖学Ⅰ | 105 | 89 | 194 |
| 解剖学Ⅱ | 71 | 69 | 140 |
| 生理学A | 50 | 26 | 76 |
| 生理学B | 34 | 6 | 40 |
| 生理学C | 84 | 26 | 110 |
| 生化学 | 144 | 58 | 202 |
| 医科遺伝学 | 38 | 2 | 40 |
| 発生学 | 30 | | 30 |
| 病理学。 | 76 | 26 | 102 |
| 病理学〔 | 81 | 21 | 102 |
| 微生物学 | 84 | 46 | 130 |
| 医動物学 | 26 | 4 | 30 |
| 免疫学 | 45 | 15 | 60 |
| 薬理学 | 114 | 22 | 136 |
| 保健医学A | 23 | 5 | 28 |
| 保健医学B | 111 | 37 | 148 |
| 法医学・医事法制 | 76 | | 76 |
| 生命科学 | 44 | | 44 |
| 医科認知情報科学 | 20 | | 20 |
| 医療情報学 | 10 | | 10 |
| 基礎研究 | 144 | | 144 |
| ○症候とその評価法 | 34 | | 34 |
| ○治療学系 | 30 | | 30 |
| ○消化器系 | 76 | | 76 |
| ○麻酔医学系 | 48 | | 48 |
| ○呼吸器・胸壁・縦隔系 | 62 | | 62 |
| ○女性生殖系 | 88 | | 88 |
| ○歯・顎・口腔系 | 32 | | 32 |
| ○腎・泌尿器系 | 74 | | 74 |
| ○循環器系 | 96 | | 96 |
| ○運動器系 | 62 | | 62 |
| ○精神医学系 | 58 | | 58 |
| ○内分泌系 | 32 | | 32 |
| ○皮膚結合織系 | 56 | | 56 |
| ○神経医学系 | 56 | | 56 |
| ○血液学系 | 28 | | 28 |
| ○感覚器系（耳） | 48 | | 48 |
| ○感覚器系（眼） | 40 | | 40 |
| ○感染症系 | 60 | | 60 |
| ○代謝学系 | 24 | | 24 |
| ○救急医療系 | 42 | | 42 |
| ○小児医学系 | 86 | | 86 |
| ○放射線医学 | 46 | | 46 |
| ○臨床薬理学 | 34 | | 34 |
| 地域医療／プライマリ・ケア | 20 | | 20 |
| 体験学習 | 8 | | 8 |
| 臨床・総合・特別講義 | 60 | | 60 |
| 特別演習 | 18 | | 18 |
| 臨床実習 | 1880 | | 1880 |
| 関連教育病院実習 | 160 | | 160 |
| 合 計 | 4768 | 452 | 5220 |

各学年における講義時間数、実習時間数について

| | 講義時間数 | 実習時間数 | 合計時間数 |
|------|-------|-------|-------|
| 1 学年 | 26 | 19 | 45 |
| 2 学年 | 666 | 232 | 898 |
| 3 学年 | 882 | 168 | 1050 |
| 4 学年 | 1614 | 73 | 1687 |
| 5 学年 | 18 | 1680 | 1698 |
| 6 学年 | 60 | 360 | 420 |
| 合 計 | 3266 | 2532 | 5798 |

16. その他の教育内容

下記の教育内容は独立した授業科目*として授業が行われていますか。

独立した科目として授業が行われている科目：

医史学（必修）、人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、医学外国語（必修）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、医療経済（必修）、医療情報学（必修）、プライマリ・ケア（必修）、家庭医学（必修）、臨床医学（必修）、人間関係学（必修）、医療保険（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医用（電子）工学、行動科学、医療福祉学（医療社会福祉学）、緩和ケア、高齢医学、在宅ケア・介護

18. MD-PhDコースを設置していない。